

学校だより

函南町立函南中学校
9月号
平成29年9月13日発行

学校教育目標『活力にあふれ、共に高め合う生徒』

- 重点目標
- (1) 将来の夢を持ち、学習に励む
 - (2) 自分と違う他人を知り、認め合う
 - (3) あいさつ、清掃、諸活動に励み、心身を鍛える

実りの秋に

校長 久保田 浩子

朝夕の風に涼しさを感じるころとなりました。校舎脇のキンモクセイからは、秋の訪れを告げるかのようにほのかな香りが漂っています。生徒は、37日間の夏休みを終え、一回り成長した姿で2学期を迎えました。

2学期スタートは、学校行事「蒼龍祭(そうりゅうさい)」体育の部と文化の部に取り組みます。この行事を通して、学級や学年、学校で共に学習・生活する仲間としての「**団結力**」を高めます。応援よろしくお願ひします。さらに、学期中盤から後半は、この**団結力の高まり**の中で、日々の授業を充実させ、学力の向上に努めます。

このような2学期、3年生は、進路決定とその実現に向けて、学習のまとめに取り組みます。1. 2年生は、日々の授業をさらに充実したものにすると共に家庭学習や読書に一層励み、内面の充実に努める学期です。

秋は日暮れが早く、虫のさえずりを聞きながらしんみりとした気持ちになります。春から夏の活動的な日々から、内を見つめる内省的な(自分自身の心のはたらきや状態をかえりみる)季節です。日本の四季の変化は、私たち日本人の生活や心の在り方に影響を与えてきました。

大人も子どもも、自身の思いに向き合い、今現在の出来事やこれからのことについて考えたり、読書や人との会話の中に新たな価値を見出したりする、そんなゆっくりと過ごす秋の夜長もよいものです。

私は小さいころから若いころ、夏休みのある「夏」が一番好きでした。年を重ねた今は、「秋」の深まりを楽しみにしています。それは、私自身の人生が、正に「秋」の時期を迎えているからだと思いますが……。

さて、秋の夜長を過ごすにあたり心配されるのは、生徒の携帯やスマートフォンによるSNS等の使用や夜更かしです。家庭で過ごす時間が増える秋から冬にかけてどのような過ごし方をするか、学校でも指導をしますが、ご家庭においてもスマートフォン等の使用について使用時間や利用の仕方等の約束を決めていただき、有意義な家庭生活を送れるよう話し合ってくださいと思います。

「実りの秋」にふさわしい日々となるように、2学期も学校と家庭がさらに連携し、生徒の夢や希望を紡ぐ学期にしたいと思います。

